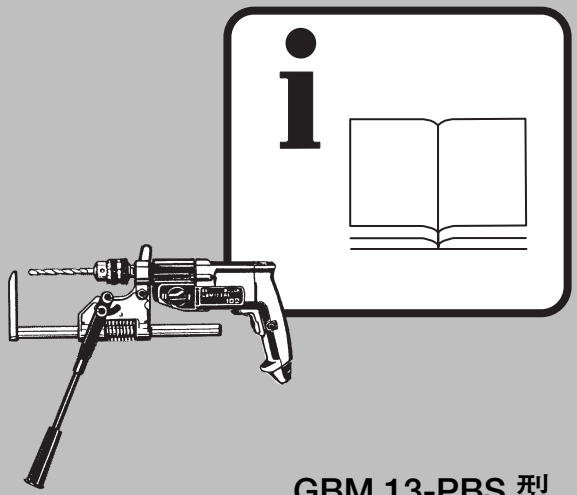
取扱説明書



GBM 13-PBS 型

PBS-03

このたびは、ボッシュ製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- 事前に、この「取扱説明書」をよくお読みになって、正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、わからないことが起きたときなど、もう一度お読みください。

BOSCH

目　　次

安全上のご注意 **2**
警告表示の区分 2
電動工具全般についての注意事項 3
本機使用上のご注意 8
本製品について **10**
仕様 11
各部の操作 12
アクセサリー 13
本機を末長くご使用いただくために 14
困ったときは **15**
「故障かな？」と思ったら 15
修理を依頼するときは 16

安全上のご注意

◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告

◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意

◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

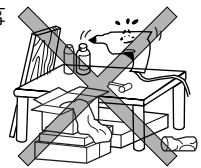
電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた電動ドリルには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

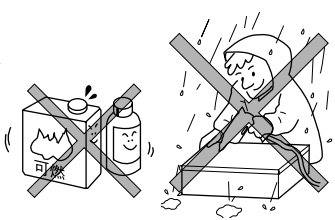
◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。

◆ 作業場は十分に明るくしてください。



◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

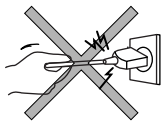
10. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

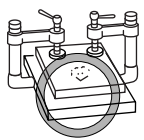
12. コードを乱暴に扱わないでください。



◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。

◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。



◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

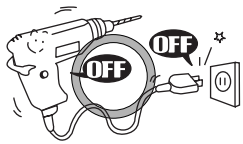
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

◆ 使用しない、又は修理する場合。

◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。

◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。

◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

◆ 常識を働かせてください。

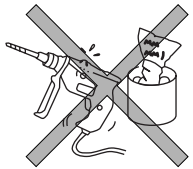
◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

本機使用上のご注意

これまで、電動工具を使用するうえでの一般的な警告を記載してきましたが、以降は電気ドリルを使用するうえでの警告および注意事項を掲載します。前述の警告の記載事項とともに、よくお読みいただいて、遵守いただきますようお願いいたします。

⚠ 警　告

使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、事故の原因となります。

穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。

作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。

使用中は、工具類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、またはボッシュ修理認定工場に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、事故の原因になります。

誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注　意

工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

細径ドリルビットは折れやすいので注意してください。

作業直後の工具類、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。

工具などでコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

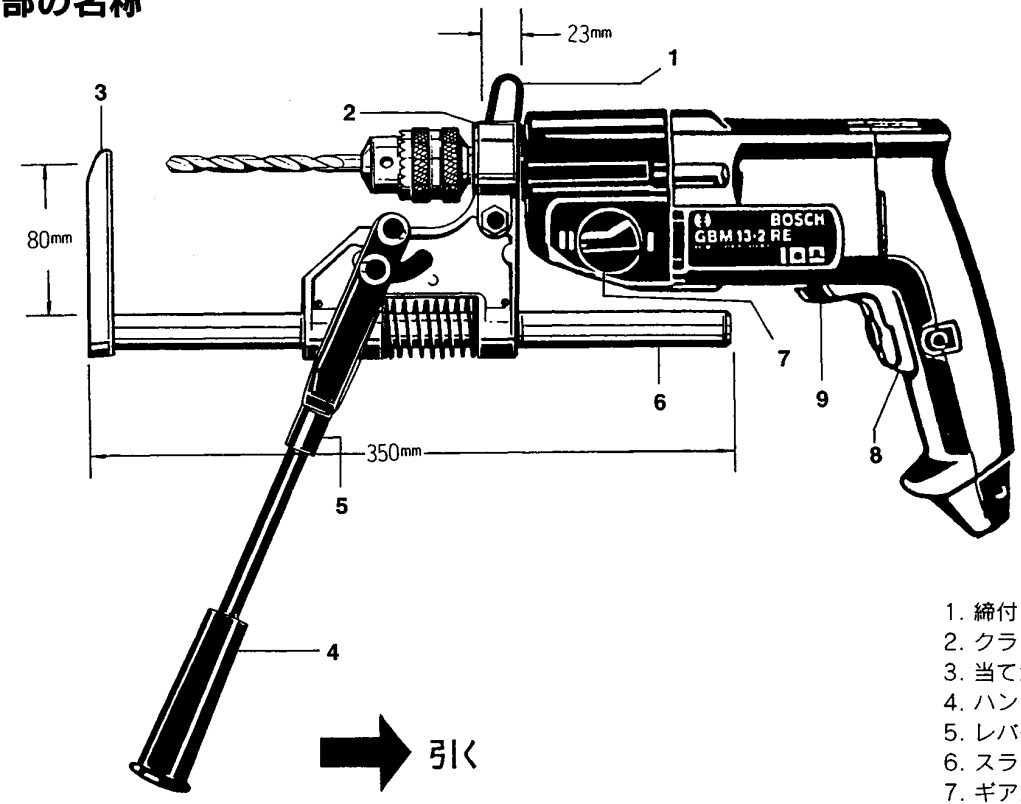
回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
事故の原因になります。

穴あけ作業など、表示能力内の作業のみご使用ください。
表示能力を超える作業をされますと本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。

過負荷で回転が止まるような作業は行わないでください。
本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因となります。

本製品について

各部の名称



1. 締付けレバー
2. クランプブラケット
3. 当て金
4. ハンドルレバー
5. レバーブラケット
6. スライドシャフト
7. ギア式２段変速スイッチ
8. 電気ドリルメインスイッチ
9. 正転・逆転切替レバー

このイラスト内の形状は、実際の形状と異なる場合があります。

仕　様

GBM 13-PBS（電気ドリル+PBSパワーアダプター）

型　番	GBM 13-PBS	
電　源	AC100V (50-60Hz)	
消費電力	550W	
回転数	① 0-1,000回転/分	
	② 0-1,900回転/分	
穴あけ能力		
鉄　工	① 13	② 8 mmφ
木　工	① 32	② 20 mmφ
ホールソー	35 mmφ（コンビシュー使用）	
チャック把握範囲	1.5～13 mmφ	
重　量	3.2 Kg	
ギア式2段変速	●	
正転・逆転機構	●	
二重絶縁	□	

PBS-03（パワーアダプター部のみ）

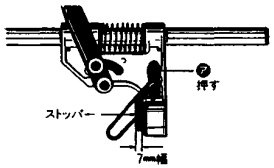
型　番	PBS-03
材　質	アルミ+ステンレス+鉄
全　長	350 mm
ストローク(送り幅)	～30 mm
送り加重比	1＝10（力＝1/10）
ドリルクランプ径	43 mmφ(電気ドリル首部径)
ふところの深さ	最大80 mm
重　量	1.25 Kg

取付可能なドリル本体

- 首部径43mmφの電気ドリルにPBSパワーアダプターは取付可能です。(GBM 13-PBSはGBM 13-2RE 型電気ドリルが組み込まれています。)

- 穴あけ能力は、PBSパワーアダプターに取付ける電気ドリル本体により異なりますのでご注意ください。

PBS パワーアダプターの取付方法



- 締付けレバー１をゆるめて、クランプブラケット２に本体の首部を挿入し、締付けレバー１を固く締付けてください。

- ドリル本体をクランプブラケット２に挿入する時は、ストッパーの㋐の部分を押してください。(挿入時は締付けレバーをゆるめておいてください。)

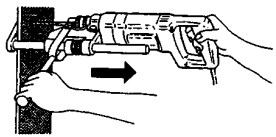
- このストッパーは、パワーアダプターからドリル本体が抜け出すことを防止します。

- 締付けレバー１は、ネジの先端部をツブしてあるため抜き取ることはできません。

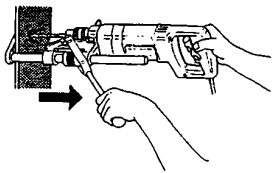
注意： 作業中にクランプブラケット２から電気ドリル本体が抜けると事故につながりますので、締付けレバー１をしっかりと締付けておいてください。

操　作　手　順

ご使用前に使用電源を必ず確認してください。
(AC100V 50-60Hz)



- 当て金３を確実に被加工材に当てるようにし、レバーを一定の速度で手前に引きます。
(80mm以内の端面の穴あけが可能です)



- ドリルの回転速度を落とさないように作業してください。レバーを強く引きすぎると、ドリルの回転速度が落ちモーターを破損する恐れがあります。
(貫通する直前にはハンドルを引く力を多少ゆるめてください。)

- ハンドルレバー４をレバーブラケット５にねじ込みます。

- 被加工材の形状、穴あけ深さによって、ドリルビットの刃先と当て金３の距離を調整してください。調整方法は、ハンドルレバー４を当て金３方向に一杯に移動してスライドシャフト６をスライドさせます。

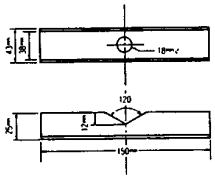
- ハンドルレバー４を一杯に引くと、ドリルビットは当て金３方向に30ｍｍ移動します。（ストローク＝～30mm）

- 当て金３を確実に被加工面に接触するように当ててください。

- ハンドルレバー４を手前に引き戻す力は、切削くずが連続して排出されるように、ゆっくりと一定の速度で力を加えて手前に引いてください。

アクセサリー

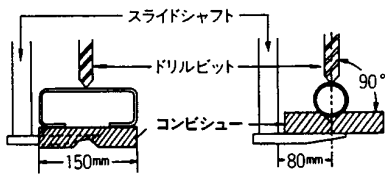
コンビシュー　　品番：PBS-031



C型鋼、パイプ等の穴あけに

- C型鋼等、当て金だけでは被加工材が安定しない場合は、コンビシューの、平らな面を上にして、6角穴付ボルト×２（M6×10）を、当て金の下から、ねじ込んで、コンビシューを使用します。

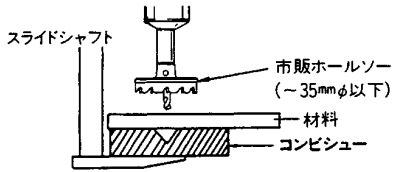
- 被加工材がパイプ状の場合は、コンビシューのV溝のある方を上にして、６角穴付ボルト×２を、当て金の下から、ねじ込んで、コンビシューを固定します。



市販ホールソー使用の場合

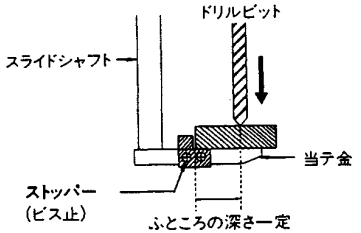
- コンビシューは、V溝のある方を、必ず上にして取付けてください。

- 市販品のホールソー（～35mmφまで）使用時は、付属品のコンビシューを、当て金に取付けてください。



ストッパー　　品番：PBS-032
ふところ深さ調節用

- 当て金に、ストッパーを、付属の２本のビスで固定し、ふところの深さ（被加工材の端面からの距離）を調整します。



本機を末長くご使用いただくために

- 購入してすぐは、カーボンブラシをなじませるため2～3分間無負荷状態で、最高回転で回してください。

- 先端工具は常に鋭いものをお使いください。

- 使用中及び使用終了時本体が熱くなったら、モーターを冷却するために、すぐスイッチをOFFにしないで、1～2分間無負荷状態で最高回転でまわしてください。特に、低回転で使用する時は、冷却効率が低下します。ひんぱんに冷却を行うようにしてください。

- 使用後、本体特にスイッチ、チャック、各切換レバー、通風口に付着したホコリを取りのぞいてください。

- カーボンブラシを交換する時は、同時にオーバーホールをおこなってください。

困ったときは

「故障かな？」と思ったら

① まず、使用方法に間違いがないか取扱説明書をお読みください。
② つぎに、症状が下記に当てはまるかどうかチェックしてみてください。

症　状	考えうる発生原因	対 処 方 法
穴あけがおそい	●先端工具の先が摩耗している。 ●使用電源の電圧が低下している。	●新しい先端工具に交換してください。 ●100Vの供給できる電源をお使いください。
先端工具が挿入できない。	●チャック内に異物がつまっている。	●異物を取り除いてください。

修理を依頼するときは

◆『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。

◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル

0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00

ボッシュ株式会社ホームページ

http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388　FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
ゼクセルロジテック内
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町的野741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

MEMO

● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp

〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンター フリーダイヤル

0120-345-762

（土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00）

EMA-GBM 13PBS/N